



静岡市

清水区

SHIZUOKA
SHIMIZU

移住を考えているあなたへ

ちょうどいい清水暮らし



清水で暮らすという選択



私たちが移り住むきっかけはそれぞれだけれど、訪れて、見て、感じて、ここに住むことを決めた。ちょうどいい暮らしのイメージができた場所、それが清水だった。

大沢川周辺



Profile

暮らしやすい環境を求めて、兵庫県神戸市から清水区へ移住。
仕事や観光で全国を回ったが、海から見える富士山がきれいで印象に残った。移住前に、清水のまちや商店街を散策する『清水区まち歩き案内』、清水の暮らしを体験できる『お試し住宅』（裏表紙参照）を利用した。

《 Interview #01 》

きむら まぎ やすゆき

自宅の窓から富士山を眺める 木村 麻紀さん・泰之さん

清水で暮らすことの魅力

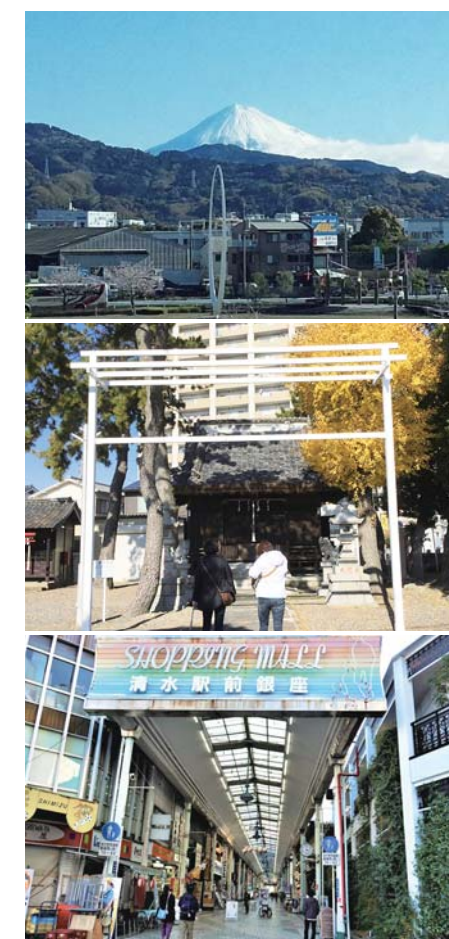
富士山が日常風景に溶け込んでいて、四季を通じていろんな表情を見せてくれるのがいいですね。朝カーテンを開けて富士山が見えると、嫌なことも全部吹き飛んでしまいます。都会と田舎のバランス、暑すぎず寒すぎず過ごしやすい気候、東京にもほどよく近い、暮らすにはもってこいの場所です。

暮らしてみても良かったところ

ちびまる子ちゃんゆかりの場所を散策したり、神社巡りをしたりすることが好きですね。地域の方々が大切に残してきたものを身近で見ることができるのが嬉しいです。都会に比べ、バスや電車の本数が少なく、交通面で不便に感じることもあります。でも、バスや電車が混雑していないと人が密集しづらいので、移動も安心です。

清水のまちに期待すること

清水ならではのまちなみや風景は、このまま変えないでほしいです。昔ながらの風景には、清水の土地柄の良さが出ています。商店街の古い建物、外観等を活かして、まちが活気づいていくといいと思います。





Profile

東京都から清水区へ移住。「今と違う土地で、新しい暮らしをしたいなあ」と思い移住を決意。介護福祉士の資格を持ち、東京で約10年間介護職の経験を積み、清水へ移住後も介護の仕事をしている。日々の家族との暮らしやちょっとした楽しみを大切にしている。マグロが大好き。

《 Interview #02 》

つちや えいじ

海とマグロに感動 土屋 英司さん



移住先を清水に決めたきっかけ

子どもの頃からサッカーが大好きで、キャプテン翼の舞台にもなった静岡に憧れ、その地に少しでも近づけたらという思いがずっと心の中にありました。ちびまる子ちゃんの世界に入り込んだ気分になって暮らすことができるかもしれない、という期待もありました。



ちびまる子ちゃんランド
(エスパルスドリームプラザ内)

移住して感じた魅力

海の無い埼玉県出身なので、ドライブ中にきれいな海が見えたことに感動しました。スーパーや魚屋さんで新鮮な魚を買えることも魅力ですね。マグロは鮮度抜群でとても美味しいです。清水が港町だからなのかもしれませんが、とにかく「雰囲気の良さ」を感じます。まち、人、時間の流れがのんびりしていて、どんなに小さな横断歩道でも車が止まってくれる人のやさしさ、思いやりには驚きました。



移住を考えている人へのアドバイス

移住後に「これがない!」とならないよう、自分の譲れないものをはっきりさせること、移住前に何度かその地に足を運ぶことが重要です。僕は、何でも揃いすぎているのはつまらない、移住自体を楽しみたいと思っていました。求めすぎず、イチからの生活を楽しみたいような人は、移住に向いているかもしれません。



©S-PULSE



Profile

長崎県から清水区蒲原(P15 MAP参照)へ移住。初めて蒲原を訪れた時のまちなみの雰囲気が良く「ここに住みたいなあ」と感じた。昔ながらのまち並みが魅力的で、人付き合いが深いまちだと感じている。Backpackers Hostel「燕之宿」を経営。妻の裕香さんが駄菓子「ツバメ」を営む。清水のご当地グルメ「もつカレー」がお気に入り。

《 Interview #03 》

おおさわ こうせい

蒲原に惚れこんで宿を開業 大澤 康正さん



蒲原に感じた魅力

蒲原のことはほとんど知りませんでした。たまたま休日に蒲原を訪れた時、建物や街道に趣があり、古くから受け継がれてきた東海道の歴史を感じる不思議な感覚を受けました。蒲原で暮らす中で、昔から培ってきたまちなみの生活感、暮らしてきた人の背景を垣間見ることができ、長崎には無い良さだと思いました。



移住する上で不安だったこと

地震・津波が心配でした。しかし、地域の皆さんは防災訓練に熱心ですし、蒲原は山も近く皆が避難先を知っておけば安心です。どこに住んでも災害に遭う可能性はあります。普段から住む場所の特徴や避難先を家族や地域の方々と共有しておくのがいいと思います。



駄菓子「ツバメ」

仕事探しのアドバイス

都会と地方では、基本的な給与相場や職場環境など異なる点が多いことを理解しておくことが大事だと思います。都会には都会の、地方には地方のメリット・デメリットがあります。デメリットの部分がどれだけ自分に合うか、納得できるかが、地方で仕事を探して、そこに住むということのヒントになります。今は働く環境のオンライン化も進み、地方にいても首都圏や海外との仕事も可能になりました。自分自身や家族のこれからの人生を考えて、何に価値を見いだすかが大事だと思います。地方の生活は良いですよ。



「ありきたり、でも豊かな暮らし」がちょうどいい

ふと生まれ育った故郷を思い出す。
はじめて訪れたのにどこか懐かしい、巴川のある清水の風景。
ここにあるのは、都会とも田舎とも観光地とも違う、
清水のありきたりな暮らし。その豊かさを、暮らす人々は知っている。



千歳橋周辺

通学・通勤に便利な 静岡鉄道

市内を東西に走る私鉄・静岡鉄道。11kmの区間に15駅あり、朝夕は片道6～7分毎の運転本数が確保されている。清水～静岡の通学・通勤や中心市街地（静岡市葵区）へのお出かけに利用する。咲き誇る桜、四季折々の花、電車が通り過ぎるのを待つ下校中の学生、夕暮れ時の穏やかな巴川などの日常の風景が車窓を流れていく。



お気に入りの富士山

学校の帰り道や見通しの良い交差点から富士山が見えると気分も晴れやかになる。清水は滅多に雪が降らないため、冠雪した富士山を眺めて冬の到来を感じる。



食卓を彩る食材

清水といえば、お茶とみかん…だけではない。近所のスーパーでマグロ、生しらす、桜えびなど新鮮な魚が簡単に手に入る。毎日の献立はもちろん、がんばった日のご褒美晩酌もさらに楽しくなる。新しい生活は、リラックスした家飲みでちょっと一杯。清水の食生活は、心も体も喜ぶ。



街なかへお買い物

休日に少し気合を入れて買い物へ行くときは、個店と百貨店がひしめく中心市街地（静岡市葵区）へ。ショッピングしておしゃれなカフェでお茶するもよし、家族や友人とランチを楽しむのも良い。美術館・映画館も徒歩圏内にある。



くさなぎ 文教のまち草薙

草薙駅を中心に商店街、大学、図書館、美術館などがある文教地区。朝夕は、多くの学生の登下校で賑わう。馴染みの店員さんとたわいもない会話をとお客さん、仕事帰りにふらりと居酒屋へ立ち寄るサラリーマン。まちを行き交うすべての人々が草薙の日常を紡いでいる。



「背伸びしない子育て」がちょうどいい



子どもの笑顔は私たちにとっても幸せなこと。
 子どものふとしたひとりで、
 場が和んだり癒されたりする瞬間がある。
 このまちの子育ては、背伸びなんてなくていい。
 誰かを支え、誰かに支えられている。

清水船越堤公園

身近な公園

自宅から歩いて行ける公園。屋外でのびのびと遊び、日常的に自然とふれあう。子どもから大人まで幅広い世代の交流の場として日常生活にゆとりと潤いを与えてくれる。



共働きの子育てをサポート

静岡市は2018年から待機児童ゼロを達成中。認定こども園等の保育施設のほかに、日曜日でも安心して預けられる静岡市清水中央子育て支援センターもある。ベテランのスタッフや同世代の子を持つ親がいて、子育ての悩みや不安を打ち明けられるから、案外皆同じような悩みを抱えていることに少し肩の荷がおりる。家に無いおもちゃで遊ぶ姿に子供の成長を感じることもある。



静岡だけ? 自慢の小学校

黄色いバッグで、ドライバーにアピールして安全に通学。保護者の旗振りや地域の人の「ながら見守り」が子どもたちの安全を守っている。災害時に活用するのが防災頭巾。防災訓練の際は必ず着用し、平時はイスのクッションとして使っている。



子どもの主体性を育む



静岡市こどもクリエイティブタウン ま・あ・るは、子どもたちが仕事体験や疑似通貨を通じて、社会・経済の仕組みを学ぶ施設。子どもたちがまちをつくり、主体性をもって活動する。お店のリーダー「こども店長」は、年下の子の立場に立って行動することができるようになった。家庭や学校ではない場所で、考える力を身につけていく。



定番スポット 日本平動物園

遠足で訪れる小さい頃からの馴染みのスポット。春にはソメイヨシノが咲き誇り、天気の良い日にはお弁当とレジャーシートを持参しピクニックを楽しむ。市内在住・通学の小中学生は無料というのうれしい。

「清水らしい出会いとつながり」がちょうどいい



人が集い、親しみに満ちた港のある暮らし。
清水の港の魅力は、住む人々の魅力でもある。
何気ない光景にも私たちの情熱、夢、人情、
郷土への思いが宿っている。

清水マリンパーク

清水港の賑わい

港には休日のお出かけスポット、エスパルスドリームプラザがある。潮風の心地よいボードデッキや小さな砂浜でのんびりと時間を過ごす。ショッピング、映画館など子どもから大人まで終日飽きることがない。大型客船の寄港時に、港は一段と華やぐ。



清水の夏の風物詩



7月上旬には清水七夕まつりが開催される。その日までに浴衣を用意し、どの髪型で行こうかと待ち遠しい。地域で作った力作揃いの飾りは見飽きることがない。七夕まつりの次は灯ろうまつり。毎年7月16日は、亡き祖先を思い、家内安全や無病息災などの願いを込めて灯ろうを流す。

清水の夏を締めくくるのは、8月に行われる清水みなと祭り。地元や職場の仲間で大勢の連をなした人々が、2日間に渡り「港かっぱれ総おどり」などを披露。魂がみなぎった踊りに、見る人も参加する人も心が一つになる。最終日には海上花火大会が行われ、清水の夏祭りは盛大なフィナーレを迎える。



サッカーのまち清水

あちこちのグラウンドで見かけるサッカーボールを追いかける光景。清水は市民の熱意と努力によって築き上げられたサッカーのまち。そのシンボルが、静岡市をホームタウンとする清水エスパルス。市民との交流を大切にし、夢と希望を与えてくれる選手たちは、私たちの誇り。



「受け継がれたまちの息づかい」がちょうどいい



人が育んだ自然、歴史、文化。
その全てがまちの息づかいとなって聞こえてくる。
私たちがいる場所は、昔も今も、そしてこれからも大切な場所。
悠久の時の中で生かされていることを知る。

興津坐漁荘



江戸情緒と 心に残る出会い 東海道

清水には江尻・興津・由比・蒲原の4つの宿場町がある。その中でも由比、蒲原は、今もなお大名行列や多くの旅人が往来したまちの面影を色濃く残す。由比、蒲原の魅力は、風情ある建物だけではない。まちに愛着を持つ人々との心に残る出会いにまた訪れたいくなる。



日常の中にある 特別な光景 三保松原

世界文化遺産の構成資産である三保松原は、富士山がよく見える冬の散策がおすすめ。羽衣伝説で知られる羽衣の松、松原を抜けた後の海の青と空の青、波の音に潮の香り、日常の中に特別な光景がある。

四季折々の絶景 日本平

静岡市全景や駿河湾、富士山を一度に味わえる美しい景観が広がる。日本夜景遺産にも認定されたオレンジ色に煌めく清水港や、季節や時間とともに移り変わる景色を楽しめる。



恵みを与え続ける 清流 興津川

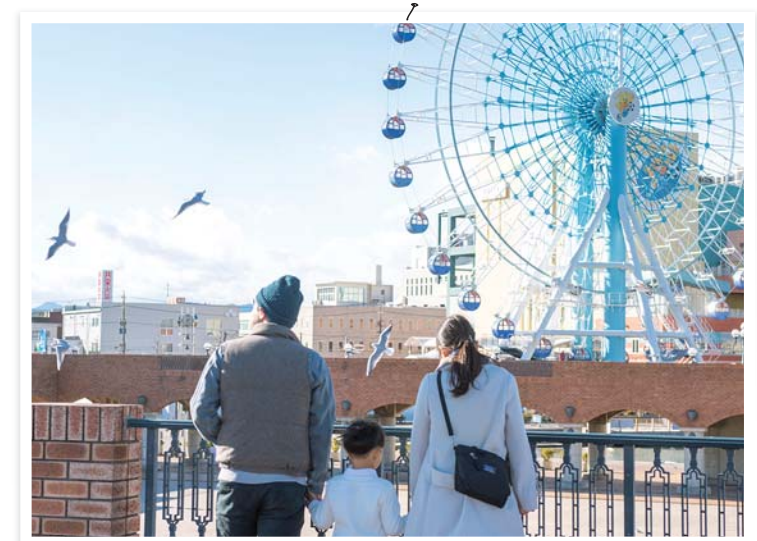
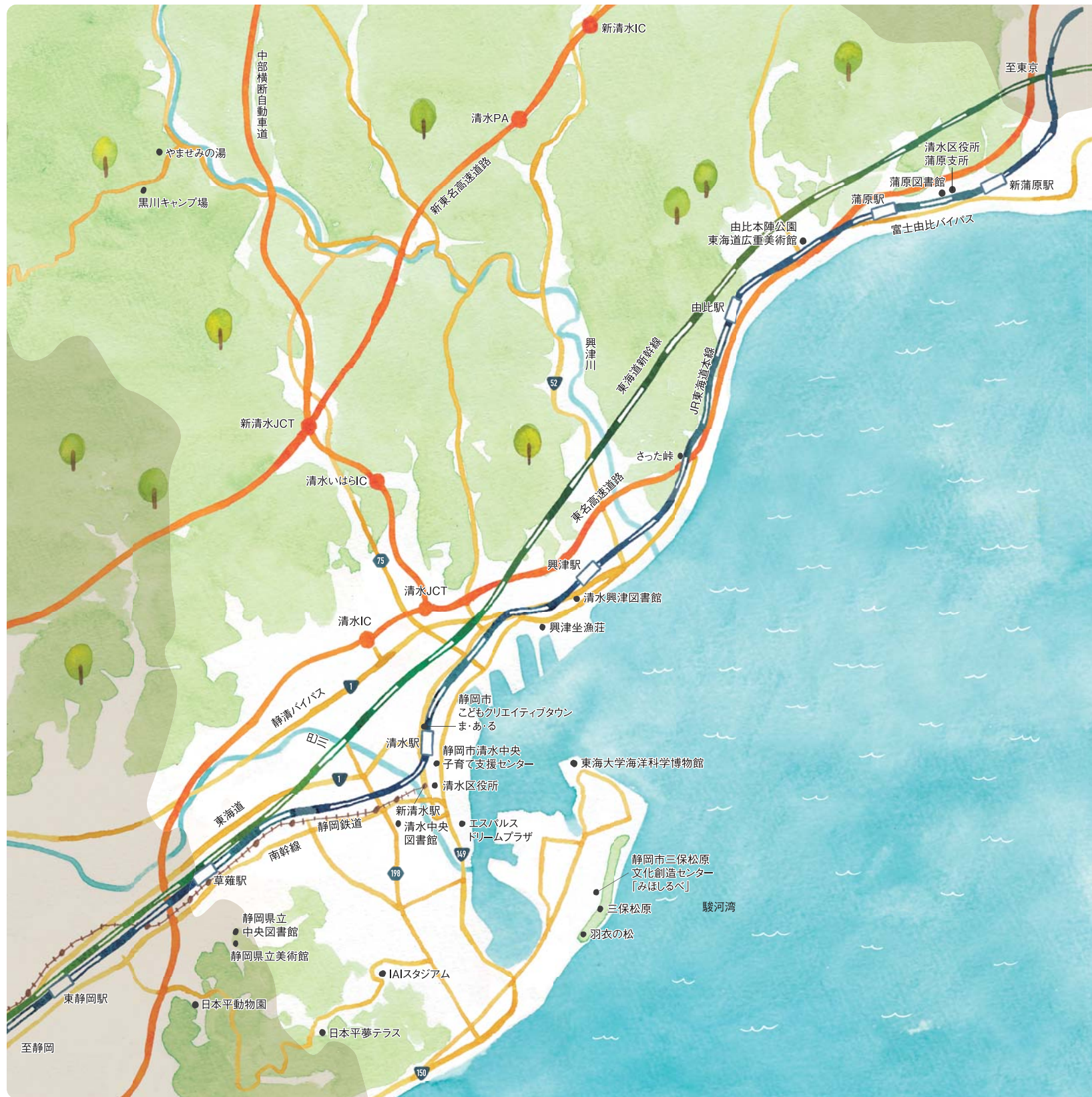
夏休みの川遊びスポット。川の透明度は高く、太陽の光が川底まで届くほど。大人たちはバーベキューやキャンプ、鮎釣りをし、子どもたちは夢中で生き物を探す。身近に感じられる自然の恵みは、次世代へと残していきたい宝物。



静岡市「清流30選」
撮影者：望月正晴
撮影場所：興津川(立花)

静岡市「清流30選」 撮影者：桑原健二 撮影場所：興津川(清地)





静岡市は温暖な気候に恵まれ、北は南アルプスから南は駿河湾に至るまで豊かな自然環境を有しています。その中でも清水区は清水港の発展とともに賑わい、また、東海道の宿場町として栄えてきました。清水の良さは、自然、まち、ひとが創り出す「ちょうどいい暮らし」にこそあります。訪れて、暮らしてみてもわかる清水の良さをぜひ感じてください。

清水区基本情報

【住民基本台帳人口】233,941人(令和2年9月)

【面積】265.02平方km(令和元年10月1日現在)

【主要施設設置状況】

認定こども園[市立].....26園	小学校[公立].....30校
[私立].....15園	[私立].....2校
私立保育園.....18園	中学校[公立].....17校
小規模保育施設等[市立].....1園	[私立].....3校
[私立].....10園	高等学校[公立].....4校
[事業所内保育施設].....1園	[私立].....3校
私立幼稚園.....7園	市立図書館.....3館
認可外保育施設.....6ヵ所	生涯学習交流館.....21館
特別支援学校(小等部、中等部、高等部).....1校	

【出典】人口(静岡市HP静岡市の人口・世帯)、面積(静岡市HP清水区の紹介)、認定こども園～認可外保育施設数(しずおか子育てハンドブック2020)、学校数(静岡県HP私立学校名簿令和2年5月1日現在)、図書館数(静岡市立図書館HP)、生涯学習交流館数(清水区生涯学習交流館運営協議会HP)

育児を応援する行政サービスガイド

ちゃむしすおか

●静岡市の子育て情報ははこちら
<https://shizuoka-city.mamafre.jp>



静岡市の移住・定住情報サイト
静岡生活

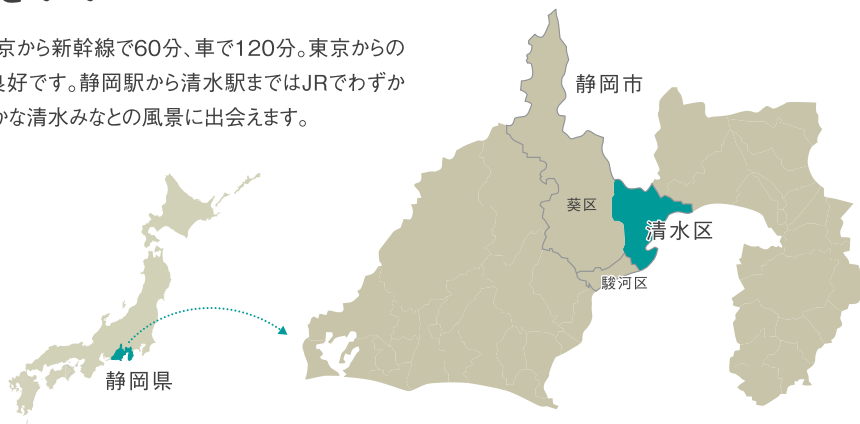
●静岡市の移住・定住の情報ははこちら

いいねえ。静岡生活 検索
<https://shizuoka-seikatsu.jp>



「東京からのアクセス」も ちょうどいい

静岡市は東京から新幹線で60分、車で120分。東京からのアクセスは良好です。静岡駅から清水駅まではJRでわずか10分、穏やかな清水みなどの風景に出会えます。



清水区での暮らしをもっと知りたい方へ

清水の暮らしをイメージするなら… 清水区まち歩き案内

清水区への移住を希望される方へ、清水区職員が清水のまちをご案内します(無料)。まちの雰囲気を感じながら、買い物、休日の過ごし方、子育てなど、暮らしにまつわる話を直接聞くことができます。



[案内例] JR清水駅、スーパー、商店街、清水港散策など

[所要時間] 1時間～1時間半程度

[お問合せ] 下記、清水区役所地域総務課まで

清水の暮らしを体験するなら… 静岡市お試し住宅

清水区にあるお試し住宅で実際に暮らしの体験をすることができます。利用条件がございますので、まずはお問い合わせください。

[お問合せ] 静岡市企画課(電話:054-221-1240)または、下記、静岡市移住支援センターまで

[静岡市移住支援センター] 東京・相談窓口

東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館3階(NPO法人ふるさと回帰支援センター内) TEL.080-2125-1591

shizuoka-c1@furusatokaiki.net 営.10:00～18:00 休.月曜日、祝日

\「いいね!」しよう/\



清水区Facebookページ

清水区 FB

検索

編集 静岡市清水区役所地域総務課

静岡県静岡市清水区旭町6-8 TEL.054-354-2028 <https://www.city.shizuoka.lg.jp/shimizu.html>

協力/清水区移住促進プロジェクト 発行/静岡市 令和3年2月発行